

## 文教福祉委員会

【テーマ：「すくすく育てつくしの子」】

意見交換でいただいた意見
・中学校に制服の選定委員会（検討）があるか？
・中学校部活のあり方 今どのような対策が考えられているのか（運動クラブ、早朝練習など）
・子どもが伸び伸びスポーツが出来る環境が欲しい（体育館の空き無し・指導者不足・中学で部活動が出来ない）
・中学校の校則について
・外国人受け入れの日本語教育の体制。
・通学の範囲 校区によっては遠距離が見受けられるが、何キロ以内とか取り決めや基準はないのか
・登下校時の見守り体制の確保
・二日市小～市役所付近の歩道が狭くて通学が危ないのでガードレールを作って欲しい
・支援学級は市内全体で1校か2校でいいのではないのでしょうか
・現在10人位の生徒を先生とボランティア5～6人で対応しているのでまるで個人学習の様です。
・支援学級の中には10人中7～8名は普通学級で良いのではないかと思います。認定はどこで決めているか
・学校に行けない子どもの居場所づくり 学習・スポーツ・支援等
・学校に行けなくなったり問題を感じている（悩んでいる）子どもや親が気軽に相談する場が余りにも少ないのでは。
・不登校問題など増加の傾向にあるが、SSWの増員を早急をお願いしたい。
・東小筑紫中約1600人児童生徒 不登校支援、担当、先生は兼任で大変、一般の先生の増員は？
・5～8%は不登校がおられていると思いますが。
・筑紫野市（小、中学校）で「いじめ」はないのでしょうか？義務教育での重要課題は何でしょうか
・学童保育は6学年まで広げられないのか。
・学童保育の時間延長と組織の簡素化について
・コミュニティスクールとは何ですか。
・学校図書予算
・絵本の読み聞かせは子供達の授業前に集中力をつけます、スタッフの年/1回の勉強会開催を願う
・ボランティアで学習支援を応援していますが、社会全体に声掛けが充分でないようです。
・未就園児を預かってくれる施設を増やして欲しい。（母親が病気で人がいない時、夫の仕事の都合が付かない急な場合でもお願いできる場所）
・未就学子育てサロンが最近ようやく各地域で開催され始めたが市の方であるのでしょうか？
・子育てサロンの拡大をしてほしい。
・児童相談や出かけるきっかけ作りについて聞きたい。
・保護者の大変さを（子育てに対して）話し合える場
・湯町の市庁舎跡地をコミュニケーションの場にしてほしい。

・24時間対応の育児相談電話コールが欲しい
・気軽にサロンに行けるように情報（ネットワーク）が欲しい。
・0才から2才までの家庭で保育する人の支援が必要
・少し大きい子（年少ぐらい）向けの遊び場や親子教室が欲しい。
・子育て支援の方法として既に子育てが終わった人の活用を考えたらどうか→シルバー世代
・子育て支援センターがあまりにも充実しておらず改革をして頂きたいと思います。
・筑紫野の伝統文化を体験教える機会があれば知りたい（小さい子向け）
・庁舎跡地を児童館等への設置へ コミュニティと一緒に入れて欲しい
・公民館の利用料 子どもたちと親と集まって気軽に遊んだり情報交換したりする場所でありたいので 料金がかかるが・・・
・親子で何時でも自分の生活のペースで遊べるスペース（施設）がもっとあったらいいと思う。
・土曜学習支援の子供が増加している現状です。せめて月/1回から月/2回に増やしてみたら
・子どもの遊び場（駐車場がたくさんある）場所を分散してもう少し欲しい。
・集いの場 「つくしの子」 駐車場が少ないので行きたくてもなかなか行けないです。
・小さい子から不登校の子どもなど何時でも子どもが集まれる居場所作りを空き家対策などでしてはどうでしょう。
・市内である子ども参加OKのイベントのまとめサイトがあると便利（紙ベースでは保管が大変・・・）
・待機児童九州ワースト1位（2018）
・幼稚園の先生も不足しているのでしょうか？加配の有無、先生方の資格の更新
・一時預かり保育がすぐ予約で一杯になり、取りづらく仕事や予定が狂ってしまう。空いている保育所もあるが一つしか登録できない。
・子供が欲しいけど経済的に不安 保育園に入れなく、働きにくい。
・保育所入所申し込みについて、待機の場合申し込みを簡略化できないか。
・待機児童について 保育園申し込みと幼稚園申し込みの時期をずらすことはできないのか
・産婦人科でパートをしているが、患者さんより保育園に預けたくて見学に行ったのに「働いていないのに預けるつもり？」と言われたと聞いた、そのような言葉が聞かれないような環境を作してほしい
・糟屋町では地域の保育園が1室子育て支援の部屋が有り1日過ごせ（保育士常駐）何時でも行けて気分が良くなった。
・子ども条例の権利保障状況の検証は毎年されていますか？答申書は出されていますか？
・子ども条例、子どもの権利救済委員に関する広報が子どもに届くためにどうしたらいいでしょうか？
・子どもへの暴力防止について予防教育
・子ども条例の検証委員会について 毎年開かれていますか？答申書はどこで見れますか？
・地域によっては、まだ街灯が少なく暗く感じている
・「みんなの学校」大阪の公立小学校に視察に行かれたと思いますが、どうでしたか？
・なかなか難しいのはわかっているが、子どもの医療費が、小学校まで無料だと助かる
・母子手帳配布場所や離乳食教室の実施場所が出かけにくい。
・休日、夜間の小児医療について

## まとめ

常任委員会で、テーマを示した意見交換会は初めての試みでした。日頃、議員に話す機会がないこと、なかなか聞けない子育てにおける困難さを互いに話すことができたことは、参加頂いた方も委員も、有意義な時間であったことは、共通の感想だと思います。

参加者の中からは、お母さん同士のネットワークで情報の共有が図れていない。子育てサロンの拡大をしてほしい。子育て支援センターが充実していない。子ども条例の検証の問題。などなど、子育てをする実感からのご意見や制度活用の問題点まで沢山のご意見を頂きました。最終的には、意見交換会の時間が足りないと言う結論に至りました。今回の取り組みを活かして、今後に繋いでいきます。